

2012 年 6 月 1 日

## ほしぞらサロン 2012 年 4 月 議事録

文責：角田 佳昭

日 時： 2012 年 4 月 28 日（土）18:30 ～ 22:00

場 所： 宗像ユリックス 会議室 3

参加者： 篠原, 高尾（辰）, 高尾（優）, 高木, 広滝（満）, 山下, 山田（明）, 松井, 與古光,  
吉次

（50 音順, 敬称略）

職 員： 加藤, 小野田, 鳥越, 角田

（計 14 名）

14 時前から、高木さんがユリックス望遠鏡で視野の確認（アイピースによって、月のどの範囲まで見えるか）をしてくださいました。17 時くらいから、早めに来られたスタッフも合流し、月やソーラースコープで太陽の黒点を観察したりしました。

その後、芝生広場横の藤棚で、藤の花を眺めてきました。

サロンは、18 時 30 分過ぎから始めました。

### 1 4 月 21 日（土）ほしぞらウォッチングの反省

先日 4 月 21 日（土）に実施したほしぞらウォッチングで出た反省点について、確認しました。

リーダーは角さん、サブリーダーを山本さん、ライブを山下さんが担当しました。

前回のウォッチングは雨天のため、屋外での観望会はありませんでした。プラネタリウムの参加者は 84 名で、スタンプの押印数は 66 でした。既にスタンプ 2 個目の方が 50 名いらっしゃいました。

屋外での観望会ができなかったのが、MYP の望遠鏡（AT — MAX）を、先日ユリックスが購入した Vixen ポルタ経緯台に載せ、ライトボックス（蛍光灯のついた台）に土星などの写真を置き、覗いてもらいました。

今回は、双眼鏡を横に置いて、望遠鏡と双眼鏡の 2 台設置しました。また、アクアドーム倉庫（望遠鏡置場）から、手すり用に脚立を 1 つ持ってきました。

反省点として、望遠鏡は 2 台あっても良かった（角さん）、双眼鏡にも脚立があると良かった（高木さん）などの意見がありました。

また、当日は篠原さんの学生が 2 名、ウォッチングのお手伝いをしてくださいました。

### 2 5 月 26 日（土）のウォッチングについて

次回のウォッチングについて話し合いを始める前に、以前から懸案となっていた、リーダー立候補者がなかなか出てきてくれない件について、角田より、これまでのサロンでの議論について説明を行いました。

これまでのサロンで、リーダー立候補者がなかなか出てきてくれない原因として、新たにスタッフになられた方が、リーダーがどんな仕事をしているのか分かりにくいのではないかという意見が出てきていました。

本来、ウォッチングのリーダーは、できる範囲のことをやっていただければ良いはずだったのですが、最近では、様々な企画を行ったり、他のスタッフをまとめたりする必要が出てきたため、多くの仕事をこなさなければならないように見えてしまっています。

そこで、リーダーがどんな仕事をしているのか、最低限リーダーにやってもらいたいことを文章にまとめることにしました。職員がリーダーの役割や当日の流れなどをまとめ、3 月 3 日（土）のミニ合宿に参加されていた、角さんや篠原さんにチェックをしてもらいました。

そして、チェックいただいた箇所を修正したものを、この日、サロンの場で皆さんに配布しました。この文書は、今後、ほしぞ・ラボにアップするなどし、スタッフの皆さんにリーダーの役割や、当日どんな事をするのかなど知ってもらうための資料として活用してもらいたいと思います。

その後、次回のウォッチングについて、話し合いを進めていきました。次回ウォッチングは、リーダーを松井さん、ライブが川端さんが担当していただきます。

観望対象は「月のクレーターを見よう！」ということなので、月が主体になります。しかし、過去 2 回のウォッチングで、屋外での観望ができていなかったため、土星も観望対象に加えることにしました。

当日の月齢では「ピッコロ・ミニ」というクレーターが見やすそうだということで、このクレーターを高倍率で観察することにしました。クレーターの名称の「ピッコロ・ミニ」も、インパクトがあるので、子どもたちにも憶えてもらいやすいのではという理由もあり、このクレーターが選ばれました。望遠鏡で拡大すると、当日はクレーター中心にある中央丘が見えやすいのではないかとということでした。月の全景（低倍率像）は、望遠鏡を使うか、双眼鏡で見てもらうかリーダーと職員との打ち合わせの中で検討することになりました。

篠原さんが、ウォッチング当日とほぼ同じ月齢の月を撮影してくださったので、この画像を使って、川端さんがプラネタリウムでのライブ解説を行うことにしました。

また、今年の 3 月のウォッチングから定番となっている「当日の星空を印刷した紙」を、次回のウォッチングでも使用することにしました。これは、当日の星空での星や惑星の見つけ方を印刷したものを来場者に渡し、プラネタリウムのドーム内で実際に使い方を体験してもらうことで、実際の空でも同じように見つけてもらおうという試みです。

最近、ウォッチングが好評で、雨天・曇天でもプラネタリウムが満席となる状況が続いています。また、来場者の半分以上がリピーター（何度もスタンプを押している）という状態です。次回のウォッチングでは、いよいよプラネタリウムの定員 80 人を超え、2 回ライブ解説を行うことになるかもしれません。

そこで、2 回解説を行う場合の手順（流れ）などを、改めて確認していきました。

多数の来場者に、スムーズに観望してもらうため、いくつか工夫していくことにしました。

- 「今回は 3 回並んで見てください（月全体、月クレーター拡大、土星の 3 天体）」などとして、見る回数を案内すると良いのでは？（篠原さん）
- どこを見ているのかが分かりやすいように、月のポスターをもっと活用しては？（高木さん）
- 何を見る列かが分かりにくいので、見ている天体の名称を掲示する「のぼり」を作ってみる。？ ？ ？ ？  
？ ？ ？ ？ ？ ？ ？ ？ ？  
(角田)

また、高木さんより、望遠鏡のそばで観望対象を案内するために、月のポスターに、視野円を貼りつけると便利そうだという意見が出ていました。

サロン前に、望遠鏡を使って視野のデータを取ったので、5 月 12 日（土）に視野円の紙（黒画用紙を切り抜く）を作ることにしました。

高木さんによると、ビクセンの屈折望遠鏡の 90 倍で月全体が見え、150 倍にしても月の  $\frac{2}{3}$  が見えているということです。タカハシの屈折望遠鏡でも、150 倍で月の  $\frac{2}{3}$  が見えており、288 倍でようやく月の  $\frac{1}{3}$  が見えている状態で、想像よりも見えている視野の範囲が広いことが分かったようです。

実際の視野を表現すると、思いのほか大きな円になってしまうため、実際に作成する視野円の紙は、少し小さめにすることにしました。

視野円の紙をポスターにどうやって貼り付けるかが問題になりますが、「ポスターの表面に透明なビニールシートのようなものを貼り付けると取り外ししやすいかも知れない（高木さん）」などの意見がありました。

また、現在は月のポスターが 1 枚しかないので、3 枚追加するため購入することにしました。これで、月のポスターが合計 4 枚になります。

リーダーの松井さんと、ライブ解説の川端さん、職員との打ち合わせを、5 月 10 日（金）の午後 6 時から行うこ

とになりました。

### 3 6月6日(水)の「金星日面通過観察会」について

6月6日(水)の昼間に、「金星日面通過」という天文現象が見られます。この天文現象は平日の昼間に見られる現象なので、あえてスタンプカードの対象となる観望会「ほしぞらウォッチング」の1つとせず、「観察会」としています。

金星が太陽面を通過し終える、午後1～2時に実施します。

人手がたくさんあると助かりますので、スタッフの皆さんの参加をお待ちしています。

日中のイベントなので、スタッフの皆さんも熱中症対策として、「帽子」などの対策を忘れないようにしてください。冷たい飲み物は、エム・ワイ・ピーで準備します。

どのような体制で実施するかなどの詳細は、後日職員よりお知らせします。

### 4 クリスマスに向けた活動について

今年の、クリスマスに向けた活動について話し合いました。

これまでのサロンでの議論をまとめると、次のことが決定しています。

- プロキオンが登場する物語は継続させたい。
- これまでの形にこだわらず、制作したい。
- 特定の人への負担軽減するようにしたい。
- お話を作る場合、もう少し短くても良いのではないか（これまでは20分間くらい）。
- スタッフのみんなが参加できるものにしたい。

以上の議論の結果、今年はこれまでの「特別番組 クリスマスのおくりもの」としてではなく、プロキオンのストーリーを「こども向けプログラム」の12月の「ショートストーリー（5～8分程度）」の物語のパートとして制作する予定にしています。

これまでのサロンの議論の中で、「たくさんのスタッフに声の出演をしてもらうために、登場するキャラクターが多くなってしまった」「登場するキャラクターが多くなった分、それに関するエピソードが必要となり、結果としてストーリーが長く冗長的になってしまった」「ストーリーが長いため、録音時間も長くなり、一言の録音だけのためなのに、スタッフの拘束時間が長くなってしまった」などの意見がありました。

まず、1つ目の解決策として、声の出演以外でたくさんのスタッフに参加してもらえる別の方法はないか、話し合いました。その中で、次のような意見が出てきました。

- みんなで、クリスマスにまつわる歌を唄ってはどうか。（吉次さん）
- ハンドベルで曲を演奏してみてもどうか。

また、シナリオを担当した山下さんに、どの部分が大変だったのか、聞いてみました。

- シナリオを煮詰めていく中で、何人かと密に相談できる機会が欲しかった（以前のシナリオ班のようなものがあると良かった）。
- 余分なエピソードをカットするという、判断をしてくれる人がいると良かった。

今年は、どんな内容にするかについても、みなさんの意見を聞いてみました。

- 過去のお話は、天文現象やイベントと絡めて作ることが多かった。（広滝さん）
- 最近、民間のスペース・シップが話題になっている。これを取り上げてはどうか。（篠原さん）

次回のサロン以降でも、クリスマスに向けてどうするのか、引き続き話合っていく予定です。

## 5 MYP 総会について

5 月 19 日（土）に MYP 総会があります。

MYP 総会について、加藤さんより案内がありました。

正会員の方には、加藤さんよりメールにて案内があります。

準会員の方も、議決権はありませんが、見学は可能です。資料を準備する必要があるので、参加人数が分かるとありがたいですので、参加登録をお願いします。

**次回のサロンは 6 月 2 日（土）です。**